

『この国どんな国？』

各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。



今回ご紹介するのは
「香港」



第14号(2008年12月11日)

香港の基本情報

香港の総面積は東京都の約半分ほどで、九龍、香港島、新界、周辺諸島の4つの区域で構成されています。150年程前には「不毛の岩山」と呼ばれた香港は、今や世界で最も自由な経済地域であり、世界屈指の金融・貿易・ビジネスセンターに成長しました。150年間にも及ぶ英国統治が終了した1997年に香港は中華人民共和国（中国）の特別行政区になりましたが、中国返還後も「1国2制度」のもと、外交と防衛を除く全ての分野で高度な自治が認められており、香港の基本法によって商業、政治、個人の自由が保証されています。

面積： 1,103km²（東京都の約半分）
人口： 約689万人（2004年12月現在）
言語： 広東語、英語、中国語（北京語）
宗教： 仏教など
政体： 中華人民共和国香港特別行政区
一人あたりGDP： 29,752ドル（2007年）
GDP成長率： 6.4%（2007年）



出所:IMF、外務省、香港貿易発展局

関係機関情報

所在地： 東京都千代田区麹町3-4トラスティ麹町ビル6階

面会者： 香港貿易発展局 進藤 晶泰様（マーケティング・マネージャー）
今回お話を伺ったのは、香港貿易発展局の進藤様です。
大変お忙しい中丁寧にご対応いただき、香港の魅力を
いろいろと教えていただきました。
(2008年10月3日に訪問)



「香港貿易発展局」

1966年に設立された香港政府系機関。中国国内の11か所を含む世界40か所以上に拠点を構え、香港企業とのビジネスマッチング、各種展示会の開催、ビジネス情報の提供、広報活動などを通じて、香港を通じたアジア・中国ビジネスを促進しています。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『この国どんな国？』

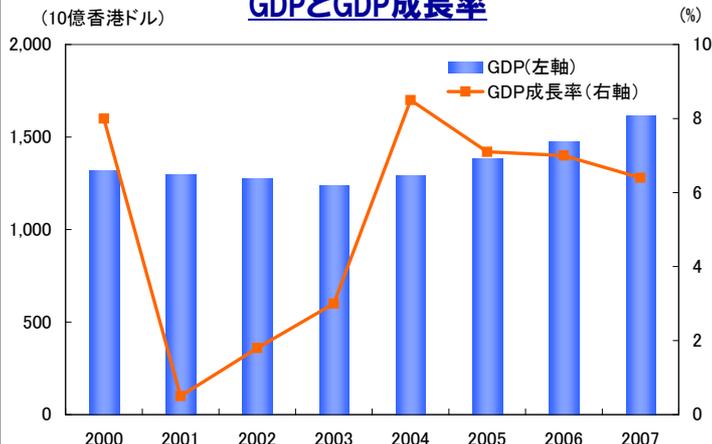
各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。



今回ご紹介するのは
「香港」

経済の概況

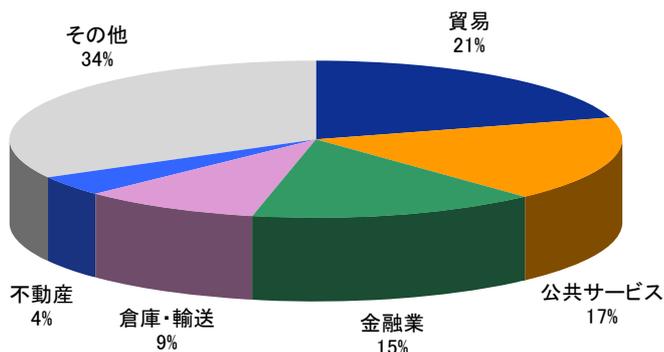
GDPとGDP成長率



香港経済は近年力強い成長を続けてきました。
2001年のITバブル崩壊や2003年に発生したSARS
問題の影響により一時的に成長が鈍化しましたが、
その後は年平均6%以上の高い成長を続けています。

出所: Hong Kong Census and Statistics Department

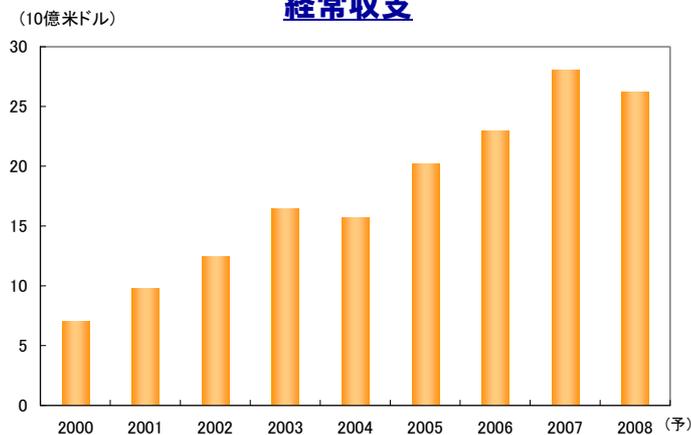
GDPの業種別構成比 (2006年)



香港経済の特徴は、第一次、第二次産業がほと
んどない代わりに第三次産業（サービス産業）
の割合が非常に高く、GDPの約9割を占めている
という点です。特に貿易や公共サービス、金融
は香港経済を支える主要産業となっています。

出所: Hong Kong Census and Statistics Department

経常収支



競争力の強いサービス部門を持つ香港の経常収支は
恒常的に黒字であり、2007年の経常黒字は2000年
の約4倍の約280億米ドルに達しました。今後も経常
収支の黒字が続き、対外ポジションがさらに強化され
ていく可能性が高いと考えられます。

出所: IMF

小売売上高



個人消費は堅調な雇用環境、実質賃金の穏やかな伸び、
個人資産価値の堅実な拡大に支えられて2004年以降順調に増加して
きましたが、景気の減速に伴い直近では伸び率が鈍化しています。

出所: Hong Kong Census and Statistics Department



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『この国どんな国？』

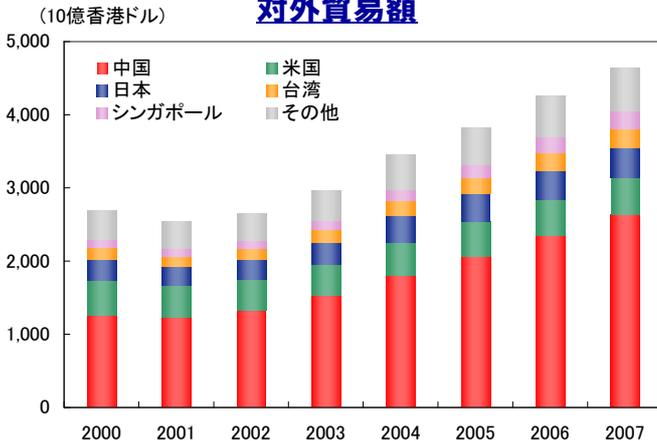


各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。

今回ご紹介するのは
「香港」

中国経済の成長と香港の発展

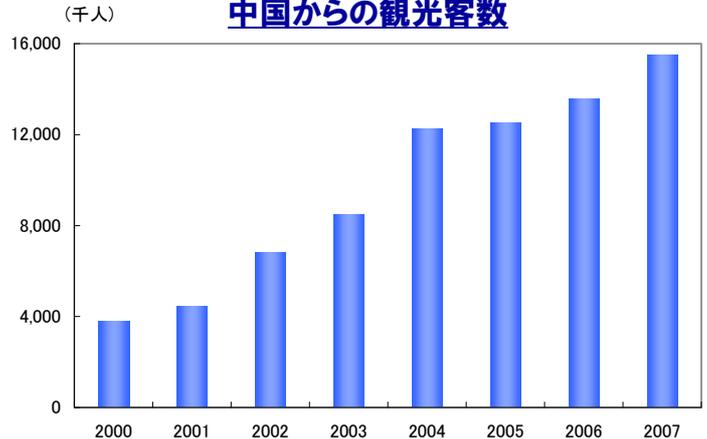
対外貿易額



香港の対外貿易額は年々増加しています。現在、輸出入共に中国が香港の最大の貿易相手国となっており、中国の経済成長と香港経済は密接に結びついています。このため、香港経済は中国の景気動向に左右されやすいという側面があります。

出所: Hong Kong Census and Statistics Department

中国からの観光客数



香港への観光客数は年々増加していますが、その内の約6割は中国からの観光客で、2007年には1,500万人を突破しました。中国からの観光客の多くは香港での買い物を目的としており、香港の消費に大きく貢献しています。

出所: Hong Kong Tourism Board

CEPA(香港・中国経済貿易緊密化協定)

CEPAのポイント

- ① 香港の製品に対する関税の免除
- ② 18種類のサービス産業の開放
- ③ 貿易と投資の効率化の推進

中国と香港は、2003年6月にCEPA(香港・中国経済貿易緊密化協定)を結びました。この協定により香港企業とパートナーシップを組む外国企業は中国本土で税制などの優遇制度が受けられるため、中国進出の足がかりとして、外国企業が香港企業と手を組むケースが増えています。

なお、CEPAの内容は毎年改定されており、開放される分野は年々拡大しています。

出所: 各種報道資料を基にスパークス・アセット・マネジメントが作成

汎珠江デルタ経済圏構想



中国南東部9省と香港、マカオを加えた「汎珠江デルタ」と呼ばれる地域が互いに連携・協力し、大規模な経済圏を作ろうという構想があります。中国国土の40%を占め、人口約4億5000万人、GDP総額約7,160億米ドルに上るこの巨大経済圏を活性化できるかどうか、今後の香港の成長の鍵を握っています。

出所: 各種報道資料を基にスパークス・アセット・マネジメントが作成



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『この国どんな国？』



各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。

今回ご紹介するのは
「香港」

香港の強み

経済自由度ランキング2008

順位	国名	経済自由度	ビジネス	貿易	投資	金融
1	香港	90.3	88.2	95.0	90.0	90.0
2	シンガポール	87.4	97.8	90.0	80.0	50.0
3	アイルランド	82.4	92.2	86.0	90.0	90.0
4	オーストラリア	82.0	89.3	83.8	80.0	90.0
5	米国	80.6	91.7	86.8	80.0	80.0
6	ニュージーランド	80.2	99.9	80.8	70.0	80.0
7	カナダ	80.2	96.7	87.0	70.0	80.0
8	チリ	79.8	67.5	82.2	80.0	70.0
9	スイス	79.7	83.9	87.2	70.0	80.0
10	イギリス	79.5	90.8	86.0	90.0	90.0

米ヘリテージ財団が発表する経済自由度ランキングにおいて、香港は**14年連続で世界一**となりました。香港のビジネスに対する規制はシンプルで、労働市場の柔軟性が高く、さらに香港への投資は積極的に奨励されており、外資への規制は事実上皆無であることがこのような結果につながったと考えられます。

出所：米ヘリテージ財団、ウォールストリートジャーナル

その他の世界的な評価

- 潜在的競争力ランキング **第1位**(3年連続)
- グローバル金融センター指数
アジア第1位、世界第3位(2年連続)
- 資本アクセス指数 **第1位**(2年連続)
- 世界経済自由度 **第1位**(10年連続)

ヘリテージ財団の経済自由度ランキング以外にも、日本経済研究センターが発表する潜在的競争力ランキング、ロンドン市が発表するグローバル金融センター指数など、多くの分野で世界トップクラスの評価を受けています。また、古くから貿易港として発展した香港は、コンテナ及び国際航空貨物の取扱量も**世界第1位**となっています。

出所：各種報道資料を基にスパークス・アセット・マネジメントが作成

香港の税制(2008年3月現在)

- ◆ **法人税：16.5%**
(参考) 主要国の法人税率(2008年7月現在)
日本41%、米国41%、フランス33%、
ドイツ30%、イギリス28%、韓国28%、中国25%
- ◆ **個人所得税：標準税率15%、累進課税2-17%のいずれかを選択**
- ◆ **キャピタルゲイン税：なし**
- ◆ **相続税：なし**

香港の法人税、および所得税の税率は主要各国と比べて低く、非常に競争力があります。このため、多くの外国企業や金融機関が香港に進出しており、日系企業だけでも**約2,100社**が進出しています。

出所：在香港日本総領事館、財務省

香港の映画産業

“東洋のハリウッド”と称される香港では映画産業が非常に盛んです。香港政府は映画産業をさらに活性化させるため、有望な映画製作者への資金援助などを目的として**3億香港ドル(約42億円)**を拠出し「**香港映画発展基金**」を設置しました。



今後は日本など各国との協力・提携関係を強化し、中国の特別行政区という強みを生かして、現在急成長中の中国本土映画市場を開拓していきたい考えです。

(左) 香港で実写版が映画化され大ヒットした、日本の人気漫画「頭文字(イニシャル)D」

出所：香港貿易発展局、エイベックスエンタテインメント



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『この国どんな国？』

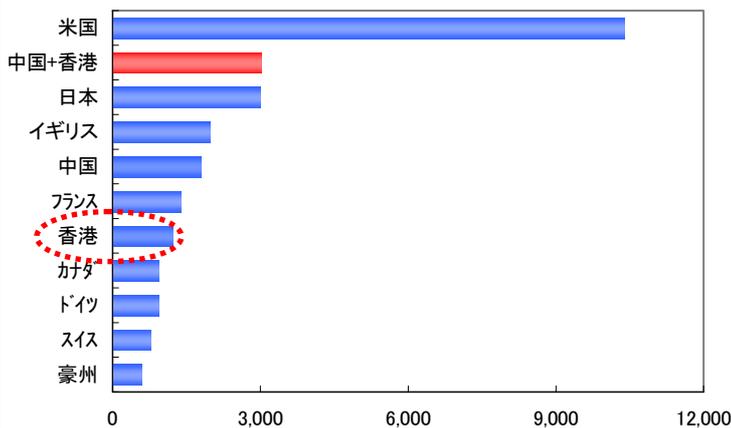


各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。

今回ご紹介するのは
「香港」

香港の資本市場

世界の株式時価総額



出所:ブルームバーグ(2008年11月28日時点)

香港の株式市場はここ数年で大きく成長しており、香港単独での時価総額は**世界第6位**、アジアでは日本、中国に次いで**第3位の約1兆2,000億米ドル(約120兆円)**となっています。しかし、中国と香港の時価総額を合計すると、日本を上回り米国に次いで**世界第2位**の規模となります。

2007年末時点で香港市場に上場する中国企業数は**235社**で、時価総額のシェアは**51.1%**に上ります。また、株式売買代金、IPOによる資金調達額も年々増加しており、香港の国際金融センターとしての存在感がますます高まっています。

香港に上場している日本企業の例:

企業名	業種
イオンクレジットサービス・アジア	金融
イオン・ストアーズ(香港)	小売業
ロジャム・エンタテインメント・HLD	エンタテインメント
ユウセイ・HLD	製造業
シグナル・メディア・アンド・コミュニケーションズ・HLD	広告
味千チャイナ・HLD	小売業

出所:香港証券取引所、味千ラーメン

香港証券取引所には、中国でビジネスを展開していたり、中国とビジネス上の関係を有する外国企業が**100社以上**も上場しています。日本企業もいくつか上場しており、中国で「味千ラーメン」を展開する味千は、香港市場への上場により、**約240億円**を調達しました。今後も中国に進出する日本企業や外国企業の戦略的拠点として、香港の国際金融センターとしての重要性が高まりそうです。



訪問を終えて

経済貿易緊密化協定(CEPA)による中国との関係強化などもあり、中国の経済成長はこれまで香港の発展に大きく貢献してきました。しかし、世界的な金融危機の影響による中国経済の減速により環境が急速に変化しつつある中、香港がこれまで築きあげてきた国際金融センターとしての地位や、中国への戦略拠点として競争力を如何に堅持し強化していくことが出来るか、中国経済の動向と共に、政府の今後の対応に注目していきたいです。



(これらは全て2008年11月末現在の情報です)

取材・編集: スパークス・アセット・マネジメント(株) 事業開発部



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。